農業融資残高の目標確認

ＪＡ岐阜信連が大会

大会決議を採択した県ＪＡバンク大会＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

県信用農業協同組合連合会（ＪＡ岐阜信連）は23日、県ＪＡバンク大会を岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開いた。本年度から始まった3年間の中期戦略を踏まえ「農業のメインバンクとして金融仲介機能を十二分に発揮する」などを盛り込んだ大会決議を採択し、本年度末の農業融資残高の目標を前年度末比10・2％増の１４０億８４００万円とすることを確認した。

県内７ＪＡの役職員ら約２２０人が出席。中期戦略の説明があった。個人貯金残高の19年度末目標は同２・０％増の２兆９５９１億４０００万円とした。

連合会の櫻井宏経営管理委員会長は「農業を基軸とした地域での取り組みにより、組合員や利用者から一層必要とされる存在になるとともに、将来の経営環境の変化を見据えた持続可能な収益構造を確立するための大切な年となる」とあいさつした。成績優秀者や団体の表彰もあった。

無断複製・転載を禁じます